

あいさつ運動の好事例

赤磐市教育委員会

心が通い合うあいさつ運動

～子どもは赤磐の宝～

アピールポイント

大人から積極的な関わりをもつ「一言声かけ運動」を登り旗で地域に啓発したり、各種団体との共同での実施で連携を図ったり、みんなで赤磐の子どもを見守り、育てていく雰囲気を醸成している。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

各校が児童会や生徒会を中心として、あいさつ運動に取り組む機運が高まっている。

■活動内容

毎月10日、25日に、教育委員会職員が、各校園の校門等で、登校時の見守り活動とあいさつ運動を実施している。また、同じ日の朝7時30分から、防災無線で、あいさつ運動や交通安全について、児童生徒の声で市内へ呼びかけている。

6月25日は、赤磐警察署と高陽中学校生徒会が、同校美術部の作成した「自転車のカギかけ・マナーアップ」の啓発紙を広報ティッシュにして、同校生徒に校門で配布する「青少年健全育成キャンペーン」の企画と共同であいさつ運動を実施した。

■取組の参加メンバー

- ・教育委員会職員
- ・6月25日は、共同実施で、高陽中学校生徒会、赤磐警察署、少年警察協助手員、地域安全推進委員、赤磐市くらし安全課

■成果・効果

教育委員会職員が地域の方や各種団体の方との連携を深めることができた。

教育委員会職員が学校へ出向き、子どもの元気な様子を実感することができた。